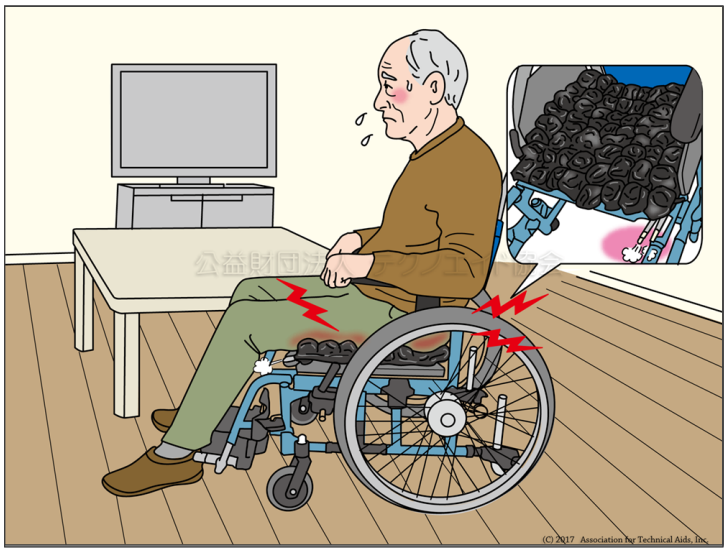
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：331

エアクッションの空気が減っていることに気付かず、座骨・仙骨が底づきする※イラストではクッションカバーを省略しています

場面の説明

褥瘡予防にエアクッションを使用していたが、空気が減っていることに気付かず、座骨・仙骨が底づきしていた



利用シーン	移動
主な利用場所	寝室 リビング・居間 ダイニング・食堂
介護保険の種目	車いす付属品
分類コード(CCTA95)	122406 (シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

褥瘡予防用のエアクッションは空気圧の調整方法を習得しないと適切に行えないので注意が必要です。定期的なメンテナンスができない状況であれば、空気圧調整の必要のないクッションを選定する必要があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：空気圧が減っていることに気がつかなかった
モノ：空気圧が減っていた
管理：専門家による定期的なメンテナンスが出来ていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.